

国語 解答・解説 第四回

正解と解説を確認してください

本演習は大学入学共通テストの過去問をもとに作成した類題です。問題文の量は過去問の約2分の1です。

第一問 対話文（防災訓練企画）

問一 正解：①

昨年アンケートで「内容が毎年同じで飽きた」が38%で最多。それを西田さんが引用しています。

問二 正解：②

「資料を見ると高齢者世帯が全体の四割を超えています」と大野さんが資料を根拠に述べています。

問三 正解：①

村田会長は「応急手当体験」と「子ども向け防災クイズ」の二つを新プログラムとして提案しています。

問四 正解：①

資料より「もっと体験型にしてほしい」は25%＝約二割五分です。

問五 正解：③

地域で最も多い高齢者世帯（43%）が参加しやすい時間帯にするためです。

問六 正解：①

村田会長の最後の発言「午前十時開始・基本訓練・応急手当・防災クイズの三部構成」が最終決定です。

第二問 現代文（旅の随筆）

問一 正解：①

「必要かもしれないと思うものを一つひとつ加えていくうちに」と本文に明記されています。

問二 正解：②

何があっても困らないよう備えるほど荷物が増えるという文脈から、荷物の多さが不安の大きさを反映しています。

問三 正解：③

「なるほど」は納得を示し「かもしれない」は断定を避けています。

問四 正解：①

最後の「身軽な旅人の方がよほど楽しそう」という観察が筆者の結論として示されています。

第三問 古文（枕草子 第四百四十八段）

問一 正解：①

古語「うつくし」は「かわいらしい・愛らしい」の意。

問二 正解：②

「雀の子の、ねず鳴きするにをどり来る」の主語は「雀の子」です。

問三 正解：③

直前の「いとをかしげなるおよびにとらへて、大人などに見せたる」＝小さなごみを指でつまんで大人に見せた場面を受けています。

問四 正解：①

この段は「うつくしきもの」というタイトルで、幼い子・小さな動物など愛らしいものへの感受性を列挙しています。

【全文現代語訳】 枕草子 第四百四十八段

【現代語訳】かわいらしいもの。瓜に描いてある幼い子どもの顔。雀の子が、ちゅうちゅうと鳴く声に跳ねて来るもの。二つ三つほどの幼い子が、急いではってくる途中に、ほんの小さなごみがあったのを目ざとく見つけて、とてもかわいらしい指でつまんで、大人などに見せている（様子は）、とてもかわいらしい。頭は尻削ぎに切りそろえた幼い子が、目に髪がかかっているのをかきのけないで、首をかしげて物などを見ているのもかわいらしい。

第四問 漢文（莊子 齊物論）

問一 正解：①

「胡蝶」の歴史的仮名遣いは「こてふ」。現代仮名遣いでは「こちょう」ですが、古典の読みとして「こてふ」が正しい形です。

問二 正解：②

注に「遽遽然＝驚き目覚めた様子」と明記されています。

問三 正解：③

注に「莊周＝莊子の本名」と明記されています。

【書き下し文と現代語訳】 莊子 齊物論

【書き下し文】昔者莊周夢に胡蝶と為る、栩栩然として胡蝶たり。俄然として覚むれば、則ち遽遽然として周たり。周の夢に胡蝶と為れるか、胡蝶の夢に周と為れるかを知らざるなり。

【現代語訳】昔、莊周は夢の中で蝶になっていた。生き生きとした蝶であった。突然目が覚めると、驚いたことに（自分は）莊周であった。（今となっては）莊周が夢の中で蝶になっていたのか、蝶が夢の中で莊周になっているのかが、わからない。

漢字問題

問一 正解：①

「卓越」はたくえつ。他より際立って優れていること。

問二 正解：①

「普遍」はふへん。すべてに共通して当てはまること。

問三 正解：①

「省みる」はかえりみる。自分の行動を振り返って反省する。

問四 正解：①

「礎」はいしずえ。土台・基礎。

問五 正解：①

「率先」はそっせん。人の先頭に立って行動すること。

問六 正解：①

「評価」は物事の価値を判断すること。

問七 正解：①

「相互」はお互いという意味。

問八 正解：①

「挑戦」は困難なことに立ち向かうこと。「挑」はいどむの意。

問九 正解：①

「副作用」は薬などが主目的以外に引き起こす作用。

問十 正解：①

「備える」は準備する・用意するの意。②「供える」は神仏にものを差し出すで意味が異なります。